

ぬしまちく しぜん いったい まちな 沼島地区の自然と一体となった町並み

所在地：南あわじ市 沼島



沼島地区の町並み

紀淡海峡に浮かぶ沼島は、漁業を主な産業とする人口約 600 人の島です。

国生み神話の中で、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）と伊弉冉尊（いざなみのみこと）が最初につくったオノコロ島であるとの伝承地は、淡路島内 7 箇所あり、沼島もその 1 つです。

沼島は、古代は海人族（あまぞく）、戦国時代は沼島水軍の拠点となるなど、巧みな海運技術を活かし、廻船業や漁業で栄えました。現在も、路地の多くが浜を向いている漁村集落の町並みをよく残しています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線、県道 76 号線を南下し、土生港へ。土生港から船で 5 分、沼島港。沼島港から徒歩で 5 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図